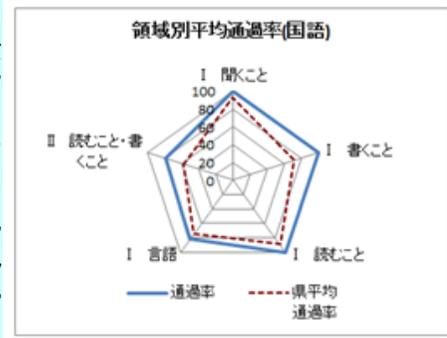


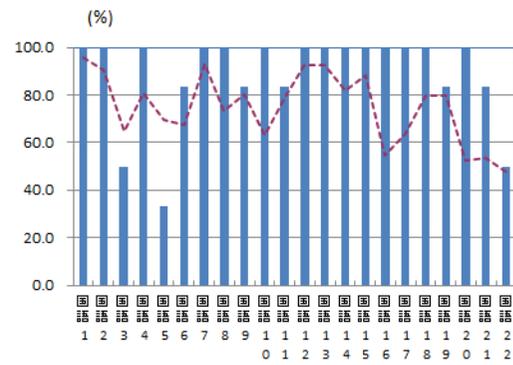
指導方法等の改善計画について〔国語科〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 88.6%, 県 74.7%)

領域別平均通過率



設問Iの平均通過率



本年度の結果について

- 国語科の結果において、タイプⅠは90.7%、タイプⅡは79.2%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については定着が十分図られていると考えられる。特に、タイプⅠの「読むこと」と「書くこと」の項目については、100%と得点が高い。一方、タイプⅠの「慣用句」の通過率が50%、タイプⅡの「情報の取出し・理由や事例を挙げた記述」の通過率も50%となっており、文章から必要な情報を取り出して、論理的に説明する力が弱い。
- 昨年度は、読むことの領域で課題が見られた。そこで、読むことに重点をおいて、設問の答えがあると思われる箇所に線を引く指導を行った。また、主人公の性格が表れている言葉を探したり自分の性格と比べたりする活動を行った。その結果、的確に読む力がついてきた。

重点課題

【課題1】

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域で、「慣用句」ができていない。「ねこのひたい」の「ひたい」を顔の部分の一部の意味としてそのまま勘違いをして答えている。(通過率 50%)

【課題2】

「書くこと読むこと」の領域で、「情報の取出し・理由や事例を挙げた記述」ができていない。指示された2文で書くことはできている。しかし、①ショーの開始時刻についての説明と②見学の開始時刻の説明の2つが必要だが、どちらか一方について説明がないか、十分に説明ができていない。(通過率 50%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域では、ことわざや慣用句の理解・国語辞典の使い方を年間を通して継続して指導する。特に、故事成語、ことわざや慣用句の意味や使い方を正しく理解し、実生活の中で起こる出来事や、その様子をことわざや慣用句を使って表すことができるようにする。

【課題2】

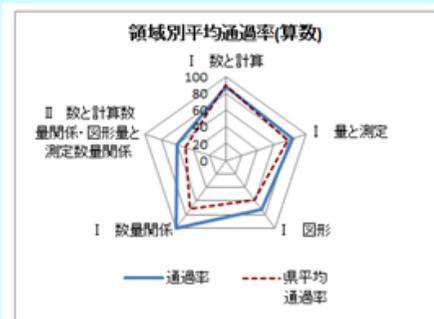
「書くこと読むこと」の領域では、目的や課題に応じて情報を取り出し、条件に応じて書く指導をする。また、文字数や表現様式などの様々な条件を設定して書き換える言語活動を充実できるようにする。複数の資料から必要な情報を取り出し、それらを関係付けて論理的に説明することができるように、案内状や新聞記事など伝えたい内容を要約したり、言葉を吟味したりする必要のある学習活動を設定する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 「基礎・基本」 診断的小テスト			全学年 期末テスト	全学年 標準学力調査の実施・分析	4年生 H27「基礎・基本」 5年生 H27「全国学力」	全学年 期末テスト
目標値	平均通過率 80%			75点以上が75%以上	全国平均以上が70%以上	平均通過率 70%	75点以上が80%以上
実施後数値							

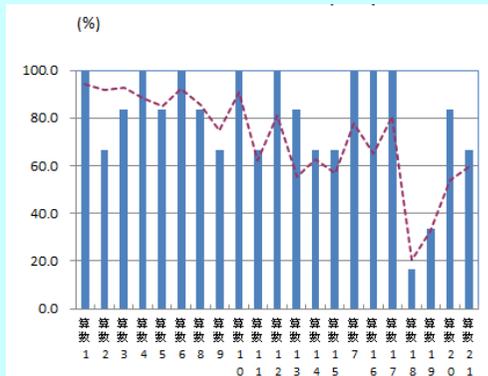
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 「基礎・基本」 診断的小テスト			全学年 期末テスト	全学年 標準学力調査の実施・分析	4年生 H27「基礎・基本」 5年生 H27「全国学力」	全学年 期末テスト
目標値	平均通過率 80%			75点以上が75%以上	全国平均以上が70%以上	平均通過率 70%	75点以上が80%以上
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 79.4%, 県 71.6%)

領域別平均通過率



数問の平均通過率



本年度の結果について

- 算数科の結果において、タイプⅠは85.4%、タイプⅡは60.0%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられる。特に「数と計算」「数量関係」の問題については、繰り下がり2回の引き算(66.7%)以外は83.3~100%と通過率が高く、「面積の単位」,「角の測定」の問題も100%であった。一方、通過率が低かったのは、「重さの読み取り」,「複合図形の面積」,「三角形の作図」(いずれも66.7%),タイプⅡの「折れ線グラフと棒グラフの関連付け」の問題(16.7%),「条件を満たす時刻」を求める問題(33.3%)であった。
- 昨年度は、複合図形の面積を求める問題に課題があった。そこで、図に数字や補助線を書き込ませながら、色々な複合図形の面積を求める学習活動を行った。その結果、正しく面積を求められるようになったが、今回の調査では、式の表し方につまずきが見られた。また、言葉や式で説明することが弱いという課題については、授業の中で説明力を高める指導を継続して行っている。

重点課題

- 【課題1】 複合図形の面積の求め方を表す式を正しく書けていない。複合図形の部分である長方形の面積を求める際に、横の長さを求めてから「縦×横」の公式にあてはめているが、()を正しく使えていない。正答 $2 \times (5 - 2 + 4)$ に対して、 $5 - 2 + 4 \times 2$, $2 \times (5 - 2) + 4$ という間違いをしていた。(通過率66.7%)
- 【課題2】 タイプⅡ「数と計算・数量関係」の領域で、折れ線グラフと棒グラフを関連付けて考えを説明する問題ができていない。グラフの特徴(区間の伸びを表した棒グラフ、変わり方を表した折れ線グラフ)が分かっていない、棒グラフのどの部分が、折れ線グラフのどの部分にあたるかをとらえていない、問題の意味が理解できていないなどが考えられる。(通過率16.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

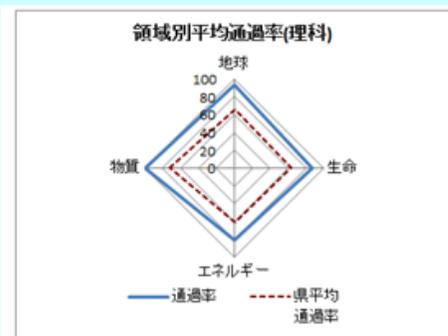
- 【課題1】 複合図形の面積については、どこが縦でどこが横にあたるのか、思考を助け、間違いを防ぐことができるように、図に数字や補助線を書き込ませて考えさせていく。そして、面積を求める式を立てたら、実際に計算して確かめる習慣をつけさせる。また、()を使った式の計算の順序についてもおさえる必要がある。
- 【課題2】 グラフの学習をする際に、それぞれのグラフが何を表すグラフで、どのようにグラフをよめばよいのか、どんな特徴があるのかなどをしっかりと理解させていく。また、算数科だけでなく様々な学習の中で、複数のグラフや図表を関連づけて考えたり、説明したりする学習活動や、与えられたキーワードや条件を入れて説明する学習活動を意図的に取り入れていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 「基礎・基本」 診断的小テスト			全学年 期末テスト	全学年 標準学力調査の 実施・分析	4年生H27「基礎・基本」 5年生H27「全国学力」	全学年 期末テスト
目標値	平均通過率 80%			75点以上が75%以上	全国平均以上が70%以上	平均通過率 70%	75点以上が80%以上
実施後数値							

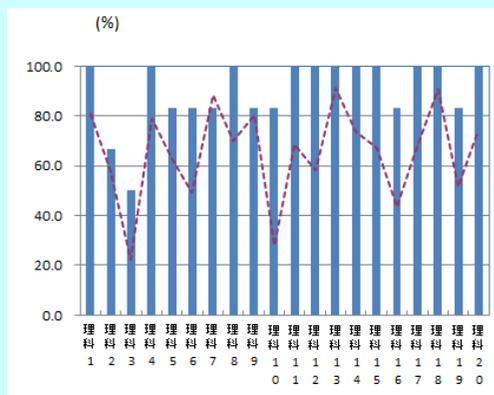
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 「基礎・基本」 診断的小テスト			全学年 期末テスト	全学年 標準学力調査の 実施・分析	4年生H27「基礎・基本」 5年生H27「全国学力」	全学年 期末テスト
目標値	平均通過率 80%			75点以上が75%以上	全国平均以上が70%以上	平均通過率 70%	75点以上が80%以上
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 90.0%, 県 65.3%)

領域別平均通過率



5年生の平均通過率



本年度の結果について

- 理科の結果において、タイプⅠの平均通過率は90.5%、タイプⅡの平均通過率は88.9%であり、教科全体の平均通過率は90%と高かった。この結果から、基礎的・基本的な内容についての定着率は高いと考えられる。特に物質についての問題は平均通過率が100%と高く、他の領域も概ね平均通過率が高かった。平均通過率が低かったのは、並列回路の配線を図で表す問題（通過率50%）と、風の力を利用して動く生活用品を考える問題（通過率66.7%）であった。
- 昨年度は、方位磁針の使い方を問う問題と、金属の体積変化を生活と関連付けて説明する問題に課題があった。本年度は、実験器具の使い方を全員が理解できるよう指導してきたことと、各教科において説明力を高める指導をしてきた結果、昨年度の課題を克服することができたと考えられる。

重点課題

【課題1】

並列回路の配線をかく問題ができていない。電池を直列につなぐ間違い、電流の方向の間違い、電池の同極をつないだ間違いがあった。回路の理解と、配線の技能が定着していない。(通過率50%)

【課題2】

風の力によって動くものを答える問題ができていない。風車と風鈴の他に、うちわを答えた児童が33.3%いた。「風の力によって動く」という問題文に十分着目せず、風に関係のあるものを選んだことが間違いの理由だと考えられる。(通過率66.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

配線をする技能定着のために、一人一人が試行錯誤を重ねながら配線をしていく学習活動が必要であり、配線によるモーターの動きの違いを十分に考察させていく。また、電池の向きを変えて、いろいろなパターンの配線をさせていく。また、電気の学習に限らず、実験をするときに、個々の技能面の定着度合いを教師が把握するとともに、技能面の定着を図るフォローアップ問題に取り組ませていく。

【課題2】

理科で学習したことが、日常生活の中でどのように利用されているかを考える学習を展開する。各単元の学習の終末では、「生活の中でどのように生かされているかを考えよう。」というねらいに沿った学習を進める。また、各教科において、問題文の中心文に着目して問題を解く習慣がつくよう、指導を重ねていく。

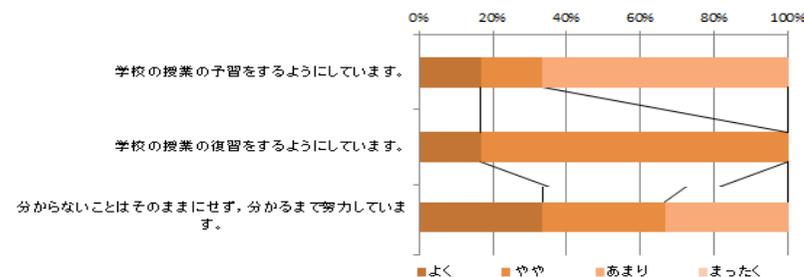
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 「基礎・基本」 診断的小テスト			全学年 期末テスト	全学年 標準学力調査の実施・分析	4年生H27「基礎・基本」 5年生H27「全国学力」	3～6年生 期末テスト
目標値	平均通過率80%			75点以上が75%以上	全国平均以上が70%以上	平均通過率80%	75点以上が80%以上
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 「基礎・基本」 診断的小テスト			全学年 期末テスト	全学年 標準学力調査の実施・分析	4年生H27「基礎・基本」 5年生H27「全国学力」	3～6年生 期末テスト
目標値	平均通過率80%			75点以上が75%以上	全国平均以上が70%以上	平均通過率80%	75点以上が80%以上
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習

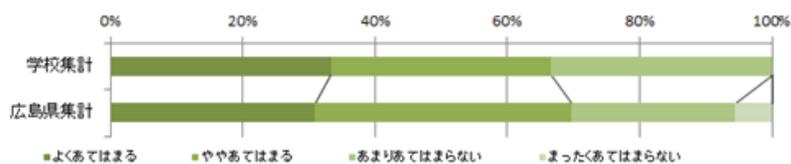
学習習慣・学習動機・学習意欲



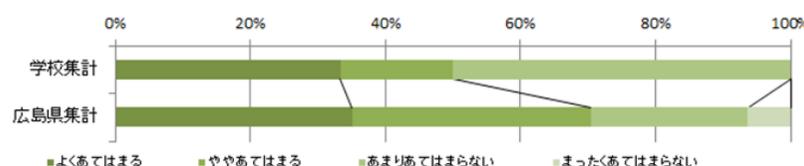
児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
学校の授業の予習をするようにしている。(33. 3%)	・家庭学習の中で意味調べ等をしているが、それを児童が予習と捉えていない。今後、予習の目的や内容について指導をする。	5	50%	児童アンケート実施	12月		

(2) 教科

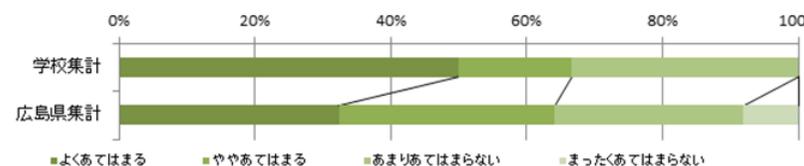
国語の授業の中では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。



算数の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています。



理科の授業では、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。(67%)	・図やグラフなどが添えられた文章を提示し、それらに関連付けて自分の考えを書く指導を意図的に行う。	5	83%	児童アンケート実施	12月		
算数	算数の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしている。(50%)	・数量の関係を式に表したり、式を読み取ったりして、式のよさが分かるように指導する。 ・()を用いることや乗法、除法を用いて表された式が一つの数量を表すことを確実に理解させる。	5	67%	児童アンケート実施	12月		
理科	理科の授業では、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりする。(67%)	・学習で身に付けた知識・技能を活用してものづくりを行ったり、日常生活に見られる自然の事物・現象について学習で身に付けた科学的な言葉や概念を使用して考えたりする機会を設定する。	5	83%	児童アンケート実施	12月		